

令和2年度 未来につながる持続可能な農業推進コンクール

持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰します。自薦・他薦は問いません。皆様のご応募をお待ちしております。

**表彰部門： (1) GAP部門
(2) 有機農業・環境保全型農業部門**

応募できる方

(1)GAP部門

応募時点で第三者認証を備えたGAP（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP）を取得しており、かつ、継続的なGAPの取組を通じて、農業経営の改善や持続可能性の確保について顕著な成果を上げている農業者、農業団体及び教育機関等。なお、実需者と連携した取組についても表彰の対象になります。

(2)有機農業・環境保全型農業部門

有機農業をはじめとする環境保全型農業の取組を通じて、環境負荷低減や生物多様性など環境の保全等に顕著な成果を上げている農業者、農業団体及び教育機関等。なお、実需者と連携した取組についても表彰の対象になります。

表彰の内容

農林水産大臣賞 2点以内

- (1) GAP部門 1点以内
- (2) 有機農業・環境保全型農業部門 1点以内

生産局長賞 6点以内

- (1) GAP部門 3点以内
個別経営の部、団体の部、人材育成の部
- (2) 有機農業・環境保全型農業部門 3点以内
個別経営の部、団体の部、人材育成の部

※GAPの人材育成の部は、農業教育機関の取組が対象になります。



▲令和元年度 農林水産大臣賞受賞者の皆様

過去の受賞者の取組の
詳細はこちら▶



応募期間

令和2年6月29日(月)～9月18日(金)

詳細はこちらもご参照ください ▶

主催

農林水産省



GAP部門

宮崎大学農学部

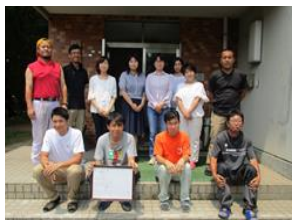


・GAPの取組を教育カリキュラムに組み込み、国際的GAP人材の育成を行うとともに、地域のGAP推進を支援。

・平成24年度にGAP指導員講座を新設し、平成30年度までに、267名のJGAP指導員資格を有する卒業生を輩出。

・平成26年度から宮崎県と協力し学外の方へ青果物・穀物向けの指導員・審査員研修を実施。

・平成29年度から畜産GAPの指導員育成のための研修を開始し、宮崎県内の畜産GAPの普及体制構築を支援。



有機農業・環境保全型農業部門

いすみ市環境保全型農業連絡部会



・ゼロから水稲有機栽培をスタートし、外部講師を招いた技術研修会等により、令和元年には23haまで拡大。

・大手総合スーパーや生協等多様な業種への販売に取り組むとともに、消費者等を対象とした体験・交流の取組を実施。



・学校給食への有機米利用を市に提案し、平成27年に有機米4tを皮切りに、平成29年には市内の学校給食米全量にあたる42tを提供。

応募方法

- ◆ 応募用紙は、以下の農林水産省ホームページからダウンロードできます。
https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/r2_konkuru.html
- ◆ 応募用紙に必要事項をご記入の上、下記の応募先にお送りください。

応募先

GAP部門：各都道府県GAP担当部署

有機農業・環境保全型農業部門：各都道府県環境保全型農業担当部署

たくさんの
ご応募をお待ち
しております!

各地方農政局等問合せ先



地域	お問合せ先	連絡先（電話番号）
北海道	北海道農政事務所 生産経営産業部 生産支援課	011-330-8807
東北	東北農政局 生産部 生産技術環境課	022-221-6214
関東	関東農政局 生産部 生産技術環境課	048-740-0446
北陸	北陸農政局 生産部 生産技術環境課	076-232-4893
東海	東海農政局 生産部 生産技術環境課	052-746-1313
近畿	近畿農政局 生産部 生産技術環境課	075-414-9722
中国・四国	中国四国農政局 生産部 生産技術環境課	086-230-4249
九州	九州農政局 生産部 生産技術環境課	096-300-6271
沖縄県	内閣府 沖縄総合事務局 農林水産部 生産振興課	098-866-1653

農林水産省 生産局 農業環境対策課

03-3502-8111（代表）
（GAP）内線 4852
（有機・環境保全型農業）内線 4840